

令和元年度 事業報告

社会福祉法人 八幡福祉協会

全体事項

高齢者人口が増加し、介護サービスを必要とする方が増えている反面、介護サービスを提供する人材が不足しているのが現状であり、令和元年度は、介護人材を継続的に確保する体制作りを目標に掲げて取り組みました。職員の離職を少しでも減らしてやりがいを持って働けるように職場環境の整備を行いました。また、法人全体として職員のキャリアパス（知識・技術の修得）形成を鑑み、若手の新規職員を積極的に採用しました。

介護サービスでは、それぞれの入居者・利用者に適したケアを行うため、各事業所で提供するケア方法の検証・見直しを行いました。これからも皆様から笑顔が溢れ、安心して生活していただけるよう、入居者・利用者の皆様に満足いただける介護サービスを行うと共に、地域の皆様に必要とされる社会福祉法人・介護保険施設となれるよう努力して参ります。

共通事項

1、人材定着・確保への取り組み

当施設が利用者・ご家族に満足いただけるように人材の確保・人材の育成を目標に掲げ取り組みました。

まず、職員が働きやすい環境を整備するために、職員同士の仲間意識の向上を目的に、コミュニケーションを気軽に取れる機会として、隣地の「よりば路」を活用して、職員及びその家族を対象にレクリエーションや食事会等を職員が企画した交流会を6回開催しました。この交流会により交流が少なかった職員とも関係が深まり、法人職員ひとりひとりがチームの一員と感じられる機会となりました。

次に、外国人技能実習制度を活用して、安定して介護職員の人材を確保することを目的に、3月にベトナムを訪問して採用面接を行い、2名の実習生を採用す

ることとしました。今回採用した実習生は11ヵ月後の来年2月に入国し、入国後講習終了後に当法人で実習開始の予定です。

職員のモチベーション向上につながる研修として、新任職員研修、産業医講話2回、外部講師による研修を3回開催しました。外部研修については、介護支援専門員研修・認知症及び看取り等、業務に係る専門研修をはじめ、職員のスキルアップに繋がる研修に参加しました。また、各事業所の会議を活用して、介護の実技等ミニ勉強会を開催しました。今後は、現在導入している人事考課についても、職員がやりがいのある制度に見直しを行ってまいります。

2、社会福祉法人としての地域貢献事業

平成29年度より子供の居場所作りを目的に取り組んでおります京都地域福祉創生事業(なかよしひろば)も継続して実施しました。学生ボランティアも定着し、内容も充実してきました。月1回の開催ですが、子供たちも楽しんで参加してくれており、今後も継続して取り組んでまいります。

当法人を地域の皆様に知っていただく取り組みとして、今年度も「八勝館まつり」「施設見学会」を開催しました。地域の皆様に当法人を知っていただくことにより、気軽に相談等ができる場所になると共に、法人側からも積極的に地域の集まりに参加し、地域の課題や要望等の把握に努めてまいります。

3、設備関係の大規模修繕事業

今年度は急を要する必要な修繕を中心に行ないました。特浴室の椅子浴が故障したため補助金を使いシャトルに更新するのに合わせて、浴室内の床面防水工事・手すり設置及び不要大型機器の撤去など浴室のリニューアルを行ない、利用者及び職員の利便性の向上・負担軽減を図りました。ショートステイでは

利用者の安全性向上を図るため見守りカメラを増設しました。調理室関係では、食数増大に柔軟に対応できる調理室レイアウトについて業者とともに検討を重ねました。

今後は本館の空調改修工事・エレベーター改修工事等を計画的に実施していきます。

役員会等の状況

① 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成31年4月17日	6名 (監事1名)	① 社会福祉法人八幡福祉協会定款の一部改正(案)について
令和元年6月14日	7名 (監事2名)	① 平成30年度事業報告(案)について ② 平成30年度事業収支決算(案)について ③ 理事の選任について

② 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
令和元年5月30日	6名 (監事2名)	① 平成30年度事業報告(案)について ② 平成30年度収支決算(案)について ③ 平成31年度の昇給率及び賞与支給月等(案)について ④ 次期理事候補者の選任について
令和元年6月21日	6名 (監事2名)	① 理事長及び業務執行理事の選任について

令和元年12月2日	4名 (監事2名)	① 給与・退職金規程の一部改正(案)について ② 報告事項 令和元年度中間決算報告等
令和2年3月11日	7名 (監事2名)	① 令和元年度収支予算補正(案)について ② 令和2年度事業計画(案)について ③ 令和2年度収支予算(案)について

④ 監事監査の実施状況

令和元年5月17日、監事2名による監査を実施していただきました。
その結果、事業報告は、関連する法令及び通知に従い、当法人の事業の執行状況を正しく示し、適切に処理されていると認めていただきました。

⑤ 評議員選任解任委員会の実施状況

1名の評議員より6月末に退任の申し出があったため、次期評議員を選任するために令和元年6月17日、委員3名の出席より委員会を開催し承認いただきました。

その他の状況

① 衛生教育について

年 月 日	参加人数	内容
令和元年8月21日	19名	睡眠障害について
令和2年2月19日	21名	生活習慣病・癌早期発見・健康診断・たばこ 自律神経失調症について

② 施設内研修について

年 月 日	参加数	内容
令和元年10月16日	36名	事故防止研修会(リスクマネジメント講義) 外部講師：葵総合保険

③ 職員健康診断

年 月 日	検診内容	受診者数
令和元年 9 月 27 日	職員健康診断（腰痛検診含む） ※当日未受診者は、医療機関にて実施	43 名
令和元年 11 月 7 日～11 月 21 日	職員インフルエンザ予防接種	61 名
令和 2 年 3 月 9 日～3 月 12 日	職員健康診断（夜勤業務実施者）	26 名
令和 2 年 3 月 5 日	腰痛検診	21 名

④ 消防訓練の実施状況

年 月 日	時 間	備 考
令和元年 10 月 29 日	1 4 : 3 0 ~	昼間訓練（消防署立会い）
令和 2 年 3 月 24 日	1 4 : 3 0 ~	夜間想定訓練（自主訓練）

⑤ 研修（実習）受入状況

平成 31 年度は、介護福祉士実習として京都八幡高校介護福祉科（1・2 年生の計 4 名）、介護福祉士実務者研修として社会人実習生を 1 名、職場体験学習としてくずは北中学校より 2 名、介護支援専門員実務研修を 1 名受け入れました。

⑥ その他

	開催数	延参加者
なかよしひろば	11 回	延べ参加者 96 名 延べ学生ボランティア 21 名
施設見学会	1 回	参加者 4 名

各事業所の事業報告

施設サービス事業所

特別養護老人ホーム

- ・新館エレベーターが設置されたことにより、グループケアの実践がより本格的になりました。新館1階ショートステイ部分を一つのグループと捉え、三つあったグループが四つのグループとなり各グループケアの方法や職員配置が明確化してきています。

新館の1階と2階への行き来が容易になったことにより、職員数が必要な時間帯に業務を応援する体制ができたこと、また、ショートステイが1階にあり職員間の情報を共有する機会である全体朝礼（申し送り）に担当職員が参加できない課題も解決し、その結果、特養職員とショート職員の垣根がなくなり相互にケアに関しての情報共有を図ることができました。

入居者・利用者に適切なサービスを提供するために、以前より行っている毎日のショートミーティングを継続し、介助方法の情報共有やケース検討等を実施しました。また、今年度より当日出勤の役職員によるミーティングを夕方に行い、日常業務の打ち合わせ、現状課題の検討及び施設行事の企画、新入居者の情報共有や稼働率を向上について検討しました。その結果、今後の方向性や役職員一人ひとりの役割を理解することによりチーム力が高まり、入居・退居の調整や入院・退院調整など迅速に対応できる体制を整えることができました。今後は事業所として掲げているケア目標を実践するために、職員配置も含め検討していきます。

- ・口腔機能を維持向上することで入居者のQOL(生活の質)向上や誤嚥性肺炎を予防し入院者を減らすことを目標に積極的に口腔ケアに取り組みました。毎食後、入居者の状況に合わせて洗口液を使用し、必要に応じて舌ブラシ・スポンジを使用し職員が介助を行いました。継続して行うことにより入居者

自ら洗面所へ向かい口腔ケアを行う姿が見られました。

- ・排泄介助については、現状の介助方法等が入居者に合っているのかを職員で協議しました。協議する中で介助方法が職員本位になっている部分、また、使用するおむつ等も価格重視になっているとの意見もあり、オムツメーカーの協力を得て、入居者にとって良い物・安全安心な物を選定し、モニターとなる入居者を選びデータ収集を行って集計結果を取る段階まで実施しました。今後は、取り組んだ結果を事業所全体で実践し適切なケアに繋げていきます。
- ・機器の更新については、経年劣化で椅子浴（リフト浴）が故障し、修理困難なため更新しました。入居者が安全・快適に入浴していただける機器を選定し、同時に浴室床の防水・すべり止め加工等の修繕工事も実施しました。
- ・働きやすい職場環境整備としては、新人職員に振り返りノートを活用し不安や疑問を残さないように取り組みました。また、産業カウンセラーに職員の面談を行ってもらい、メンタル面でもサポートしてもらい、職員が働きやすい環境を整えることに努めました。

特養入居者等の状況

① 退所状況

年 月 日（現在）	死亡	解約の申出	合 計
平成31年3月31日	13人	2人	15人
令和2年3月31日	14人	4人	18人

② 要介護度の状況

年 月 日 (現在)	要介護度					平均要介護度
	1	2	3	4	5	
平成31年3月31日	1人	7人	19人	20人	20人	3.76
令和2年3月31日	1人	2人	27人	22人	17人	3.75

③ 利用実績

年 度	延入居者数	一日平均入居者数	備 考
30年度	24,339人	66.7人	稼働率 95.2%
令和元年度	24,465人	67.0人	稼働率 95.7%

④ 入居者検診状況

年 月 日	検診内容	受診者数
令和元年10月8日	胸部レントゲン撮影 在館 69名	60名
令和元年11月18日 ～ 令和元年12月16日	入居者インフルエンザ予防接種 ※新入居者については、入居前の在宅で接種されています。1名拒否	68名

⑤ 行事等実施状況

開催日	行事名	開催日	行事名
8月1日	花火大会	12月20日	年忘れ会
8月29日	夏祭り	12月27日	もちつき大会
10月20日	運動会	12月31日	居酒屋

(介護予防) 短期入所生活介護事業所[ショートステイ]

- ・前年度下期に実施しました空調改修工事で定員を1月末まで制限していた影響で、利用者が他事業所を利用されたりして、上期は稼働率の低下が続いていましたが、相談員等が各事業所を回り、また、利用者及び家族様にも

積極的に声かけを行い、下期には改善傾向が見られました。今後も、当事業所の良さや取り組んでいるサービス内容等も積極的にアピールして稼働率向上に努めていきます。

- ・ 継続して取り組んでいる、日々の出来事や行事の写真をまとめて記事にするショートステイ新聞の作成は、利用者の皆様にも定着してきています。利用者と職員が共同して作品を作り上げるため、貴重なコミュニケーションの時間となり、利用者の皆様も大変喜ばれております。
- ・ 八幡市からの緊急入所の依頼は積極的に受け入れを行いました。困難ケースであってもできる限り受け入れをして、在宅での生活が困難で入居が必要な利用者には安心して生活が送れるように特養入居へ連携を取りました。

ショートステイ年間利用実績（短期入所・介護予防短期入所）定員 14 名

年 度	年 間	月平均	一日平均	稼働率
30年度	2, 881人	240. 1人	7. 9人	56. 4%
令和元年度	3, 284人	273. 6人	8. 9人	63. 5%

※平成30年10月～平成31年1月末までは改修工事に伴い定員14名を6名に変更

在宅サービスセンター

（予防）通所介護事業所[デイサービス]

- ・ 利用者が元気で在宅生活を送れるよう、デイサービス利用時は歩行の維持や転倒予防の観点からフットケア（足の状態観察、むくみ・血行改善、爪のケア等）の充実を図り、一人ひとりの運動機能の維持・向上に努めました。室内での平行棒による歩行訓練、階段昇降、屋外での歩行訓練、フットマッサージなど利用者の身体レベルに合わせた内容でリハビリを実施しました。
- ・ 利用者を楽しんでいただけるレクリエーションや行事（イベント）等の実施に

については、サービス利用中は一日を通じて個別及びグループレクリエーションを実施し、また花見外出をはじめ地域への散策やクリスマス会などを含む季節ごとのイベントを随時開催するなど、利用者が笑顔で楽しい時間を過ごしていただけるよう取り組みました。

- ・安心してデイサービスを利用していただけるために、利用者の体調管理等を看護師や介護職員がきめ細やかに行い、体調不良や特変があった場合は速やかにご家族・主治医・関係機関等へ状況等の連絡を行いました。また、利用中の出来事などはふれあいノート（連絡帳）へわかりやすく丁寧に記載することで、利用者やご家族に安心してサービスを利用していただけるよう取り組みました。

利用実績

年 度	要介護 1～5	要支援 1, 2	一日平均	備 考
30年度	5,803人	537人	20.5人	
令和元年度	5,817人	373人	19.9人	

外出行事の状況

実 施 日	目 的	行 き 先	参加人数
3月30日～4月9日	花見外出（桜）	渚水未来センター	34名
6月6日～6月14日	菖蒲外出	渚水未来センター	20名
11月12日～11月27日	紅葉外出	善法律寺・さくら出会い館	36名

通所型B事業（ぽかぽか庵）

地域の要支援及び事業対象者の方を対象にリハビリ体操や創作レクリエーションを実施することで外出の機会や社会参加を促し、介護予防・閉じこもり予防に努めました。また利用者の方が昼食を楽しく召し上がっていただけるよ

うな空間づくりに取り組み、当初は週1回（火曜日）から事業を開始しましたが、平成31年4月より週2回（火・木）実施することができました。

※平成30年11月より開始

年 度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
30年度	19回	66人	3,4人
令和元年度	91回	580人	6,4人

在宅介護支援センター

地域で開催されている「いこいのサロン」や橋本4区の各集会へ参加することで、地域住民の方々や学区福祉委員との交流を図り、地域のニーズ把握等に努めました。相談については、情報提供及び必要に応じて地域包括支援センター及び関係機関と連携を図り適切に対応しました。

八幡市の委託事業である「はつらつ健康教室」は計22回実施し、閉じこもり予防を目的として、利用者に楽しんで参加していただける企画を行いました。

八幡市からの委託業務の実施状況は下記の通りです。

(1) 相談業務実施状況

年 度	年 間	月平均	備考
30年度	47件	3,9件	
令和元年度	51件	4,2件	

(2) 高齢者の実態把握等実施状況 (件)

年 度	実態把握件数	福祉用具購入支援数	住宅改修支援数
30年度	6件	9件	24件
令和元年度	2件	3件	22件

(3) 配食サービスの実施状況

八幡市（昼食）

年 度	人 数	延べ食数
30年度	200人	3,007食
令和元年度	165人	2,500食

八勝館独自サービス（昼食・夕食）

年 度	人 数	延べ食数
30年度	68人	900食
令和元年度	112人	1,515食

(4) 介護予防事業開催状況（はつらつ健康教室）

年 度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
30年度	24回	299人	12.4人
令和元年度	22回	297人	13.5人

居宅介護支援事業所

ご本人やご家族等からの依頼を含め、病院・関係機関・地域包括支援センターからの紹介を柔軟に受け入れ、新規プランの獲得に努めました。特に地域包括支援センターと連携を密にすることで、予防プランの新規利用者の獲得につながり、安定した利用者の確保ができました。

介護支援専門員として専門研修や地域ケア会議等へ積極的に参加し、情報の収集や自己研鑽に努め、また実習生を積極的に受け入れることで、実践の振り返り及び職員の指導力等のスキルアップに努めており、今年度についても1名の介護支援専門員実務研修の実習生を受け入れています。

ケアプラン作成、代行申請状況

年度	ケアプラン		代行申請		備 考
	件数	月平均	件数	月平均	
30年度	664	55.3	24	2.0	更新・区分変更・新規申請
令和元年度	697	58.0	27	2.2	更新・区分変更・新規申請

予防ケアプラン作成

年度	ケアプラン	
	件数	月平均
30年度	50	4.1
令和元年度	98	8.1

調理部門

利用者の食に関するニーズの多様化と重度化による食事形態の複雑化等により調理時間の増加は当初見込みましたが、調理師正規職員2名の雇用の確保と人材育成、業務の一部見直し、作業の効率化をとり組むことにより時間外労働の大幅な短縮が図れました。また管理栄養士を中心とした衛生管理の徹底を行い、新規事業であるほかほか庵やその他利用者から食事提供に関わる生の声を聞きながら品質の良い食事を提供することができました。

8 理事・監事・評議員等名簿

(令和2年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日
理事長	遠州 伸高	令和元年6月21日
業務執行理事	藤井 さよ子	〃
〃	中川 晶勝	〃
理事	河本 直樹	〃
〃	佐野 良夫	〃
〃	本郷 俊明	〃
〃	松井 寿文	〃

役職名	氏名	就任年月日
監事	北村 章	令和元年6月21日
〃	大高 俊生	〃

役職名	氏名	就任年月日 ※任期4年
評議員	松崎 祥三	平成29年4月1日
〃	波田 容子	〃
〃	山本 政名	〃
〃	遊佐 勝彦	〃
〃	松田 千登勢	〃
〃	岩田 晃一	〃
〃	梶原 寛之	令和元年7月1日

